人間文化研究機構　第一八回公開講演会・シンポジウム

不安の時代をどう生きるか

鴨長明と『方丈記』の世界

2012.5.19(土) 13:00-17:00 12:00開場

会場：イイノホール(東京都千代田区内幸町2-1-1)

聴講無料 ※要事前申込

プログラム

【講演】

「転換期の歌人長明の鬱情」
馬場あき子(歌人)

「方丈を生きる」
山折　哲雄(元国際日本文化研究センター所長)

【シンポジウム】

「いま長明・『方丈記』を読みなおす」

—パネリスト

荒木　　浩(国際日本文化研究センター教授)
磯　　水絵(二松学舎大学教授)
浅見　和彦(成蹊大学教授)

—コメント

馬場あき子(歌人)
山折　哲雄(元国際日本文化研究センター所長)

—朗読

和田　　篤(元NHKアナウンサー)

—司会

寺島　恒世(国文学研究資料館教授)

出典：『前賢故実』(国文学研究資料館蔵)

[問い合わせ先]　国文学研究資料館
電話番号：050-5533-2900　所在地：〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
W E B：http://www.nijl.ac.jp/

[後援]　文部科学省、東京新聞、中世文学会、下鴨神社、NHK

[主催]　大学共同利用機関法人 人間文化研究機構　大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館

人間文化研究機構　第18回公開講演会・シンポジウム

不安の時代をどう生きるか

鴨長明と『方丈記』の世界

鴨長明が『方丈記』を書き終えたのは建暦2年(1212年)3月、今年はそれからちょうど八〇〇年後に当たる年である。昨年3月、未曾有の震災に見舞われた日本は、いま大きな不安に包まれている。これからの時代を我々はどう生きるべきか。地震を含む幾多の災いを体験し、混迷の世を生き抜いた鴨長明の営みを問い直すことから考えてみたい。

関連行事

特別展示「鴨長明とその時代―『方丈記』800年記念」
会期:平成24年5月25日(金)～平成24年6月23日(土)
会場:国文学研究資料館 1階展示室(東京都立川市緑町10-3)

申込方法

事前申込／定員450名(応募多数の場合は先着順)
ハガキまたはFAXに郵便番号、住所、連絡先の電話番号、氏名(フリガナ)をご記入のうえ、下記の申込み先までお送りください。

締め切り／平成24年5月11日(金)※消印有効
受講していただく方には受講票をお送りします。

申込み先

〒190-0014　東京都立川市緑町10-3
国文学研究資料館「方丈記シンポジウム」担当まで

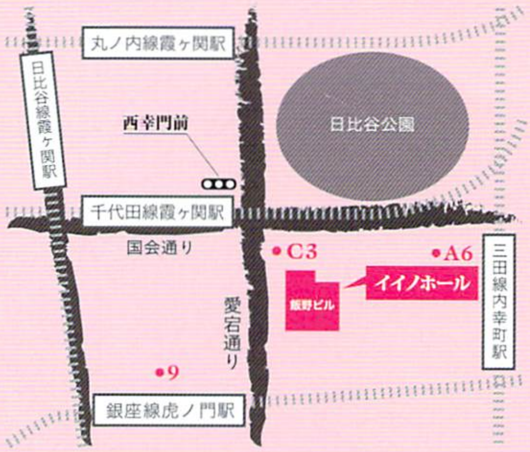
FAX番号／042-526-8604
※この申し込みを通じて得た個人情報は、連絡業務のみに使用させていただきます。

タイムスケジュール

13:00	開会	
	開会の辞	石上　英一(人間文化研究機構理事)
13:00～13:05	機構長挨拶	金田　章裕(人間文化研究機構長)
	第1部【講演】	
13:05～13:55	「転換期の歌人長明の鬱情」	馬場あき子(歌人)
13:55～14:10	休憩	
14:10～15:00	「方丈を生きる」	山折　哲雄(元国際日本文化研究センター所長)
15:00～15:15	休憩	
	第2部【シンポジウム】	
15:15～16:55	「いま長明・『方丈記』を読みなおす」	
	パネリスト	荒木　浩(国際日本文化研究センター教授)
		磯　水絵(二松学舎大学教授)
		浅見　和彦(成蹊大学教授)
	コメント	馬場　あき子(歌人)
		山折　哲雄(元国際日本文化研究センター所長)
	朗読	和田　篤(元NHKアナウンサー)
	司会	寺島　恒世(国文学研究資料館教授)
	閉会	
16:55～17:00	主催機関挨拶	今西祐一郎(国文学研究資料館長)
17:00	閉会の辞	石上　英一(人間文化研究機構理事)

交通案内

- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C3出口から徒歩1分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口徒歩3分
- 東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 4番出口徒歩10分
- JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線・都営地下鉄浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅　徒歩10分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A6出口より日比谷シティ経由で直結



第18回公開講演会・シンポジウム　申込み

必要事項をご記入の上、FAX：042-526-8604にお申し込みください。

住　所：〒　-

氏　名(ふりがな)：　　電話番号：

今後の講演会などのご案内送付を希望　する・しない